

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	現在利用者様に体調の変化が見られた場合、家族の意向を聞き、事業所のできることを十分説明した上で家族、主治医、施設長が終末期に向けた対応を話し合い方針を決めているが、入居時の意思確認ができていない。	入居時から終末期の対応について本人、および家族の希望を聞き、その意向に沿った適切なケアを行う。	契約時に終末期の本人、家族の希望を聞く。状態が変化する毎に主治医や職員が状況を説明し、必要時は家族・主治医・施設長が話し合う。経過記録とは別に各利用者の記録を残し、関わる介護職員全員に周知させる。	6ヶ月
2	10	意見箱の設置や外部の苦情受付窓口の電話番号の紹介をおこなっているが、運営に関する利用者、家族の意見を積極的に聞くことができていない。	利用者、家族の要望を把握し、運営に反映する。	利用者、家族の要望を把握するため、家族の面会時に要望や改善を望む点などの聞き取りをする。アンケートを毎年3月に実施し、直接言い難い意見の把握を行って運営に反映する。	6ヶ月
3	54	オムツ類が目につく所に置いてある。	プライバシーに配慮した、安全で居心地の良い居室にする。	オムツ類は目につかないようにクローゼットや戸棚、リネン庫に収納する。すぐに使用できるようにトイレ付近に数組を準備する場合はケースに入れ、カバーをかけ外から見えないようにする。	2週間
4	40	食事が外部委託で、利用者が献立を考えたり、調理の過程を楽しむ事ができない。	調理の過程を含め、食べることを楽しむ機会を増やす。	月に一度程度利用者の要望を聞き、利用者と職員が一諸に買い物から調理までを行う機会を持つ。2週間に1度程度手作りおやつの日を設け、簡単な調理をする機会を設ける。	2ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。